

牛久：学校周辺に見る自然

第12号 ひたち野うしく小学校

2018年5月20日発行

< 春のみずべ公園で生きもの観察 ～⑧鳥 >

ひたち野うしく小4年生と歩いたみずべ公園、最後に鳥の仲間を紹介し^{しょうかい}ます。



地面をつつきエサを探すムクドリ(左)と、林の中でさえずるシジュウカラ(右)。



まず、集合した広場でしきりに地面をつついていたムクドリ。エサを探していたのです。

林に入ると、シジュウカラがしきりにさえずっていました。胸のネクタイのようなもようが特徴^{とくちょう}です。

4/24の林には、ツグミもいました。冬鳥^{ふゆどり}ですが、まだ残っていたのですね。でも、5/1の2～5組さんの時には見つかりませんでした。

まだ見られた冬鳥のツグミ(4/24)。



コナラの木の上の方に、鳥の巣^すも見つかりました。タカの仲間のようです。以前の観察授業で見た巣^すとそっくりです(28年度第12号)。そういえば、みずべ公園でノスリなどのタカの仲間^{なかま}を見かけることが、めっきり少なくなりました。この巣^すももう巣立^{すだ}った後だったのか、とちゅうで放棄^{ほうき}したのか、その後、鳥の姿^{すがた}は見られません。

タカの仲間^{なかま}、ノスリ?の巣^す。

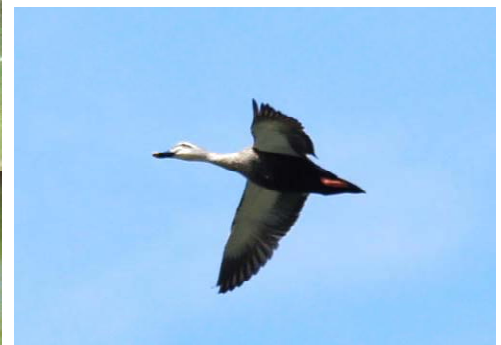
続いて、池のまわりで見られた鳥たちです。



みずべの枝えだにとまるカワセミ(左)と、えさの幼虫ようちゅうをくわえたシジユウカラ(右)。

みずべの枝えだには、「飛ぶ青い宝石ほうせき」とも呼ばれるカワセミがいました。4/24には、2羽いっしょに観察できましたね。えさの小魚を見つけると水中に飛びこみ、細長いくちばしで捕えて食べます。

シジユウカラも、えさの幼虫ようちゅうをつかまえて食べていました。



冬鳥ふゆどりコガモのおすとめす(左上)。おでこの白いオオバン(右上)。白くて大きなダイサギ(左下)。黒くて大きなカワウ(下中)。空を飛ぶカルガモ(右中)。大きな魚を食べる小さなカイツブリ(右下)。

最後に、池で見られた鳥たち。冬鳥ふゆどりのコガモが、まだけっこう見られました。例年、5月半ばくらいまでは見られるようです。コガモにまじって、オオバンも見られました。一年中いるカルガモは、この日は空を飛ぶ姿がよく見られました。白い大きなダイサギは、そろりそろりとエサを探して歩いていましたね。黒く大きなカワウは、いつもの岩の上ではねを乾かしたりしていました。コガモより小さな(ムクドリくらいだそうです)カイツブリが、水面でバシャバシャと水しぶきを上げていました。よく見ると、大きな魚をなんとか飲みこもうとしているところでした。 【理科支援員：宮内】